

第3回栗東市観光振興会議 会議録

- 日時： 令和4年3月24日（木） 午後3時00分～午後4時30分
- 場所： 栗東市危機管理センター2階 防災研修室
- 出席： <委員>
築地達郎会長、田中由美副会長、岡山光雄委員、林優里委員、上野邦緒委員、
西田秀孝委員、西田雅彦委員代理
<運営組織>
一般社団法人栗東市観光協会 山口事務局長
<事務局>
商工観光労政課青木課長、商工観光労政課事務局担当

1. 開会

(商工観光労政課長補佐)

2. 市民憲章の唱和

3. あいさつ

築地会長

事務局より、本日の傍聴者は0名と報告された

4. 案件

報告事項

①栗東市観光認知度アンケート調査の報告書について【資料1,2】

事務局より資料の説明。

意見・質疑

築地会長) 回答者のうち、県外の方が97%近くであるので、結果として市外県外からの誘客に関するKPIであってもう一つの柱である地域での認知度向上や愛着向上については別途考える必要がある。

事務局) 資料5の1～3番が市内向けのKPIという形で今回ご審議いただくところが4～6番で県外向けのKPIとして考えております。

②栗東市観光案内所の運営報告及び来年度の運営について【資料3】

事務局より資料の説明。

意見・質疑

→なし。

③栗東市マーケティング計画について【資料4】

運営事務局栗東市観光協会より資料に基づいて説明。

意見・質疑

林委員) フォレストアドベンチャーとして豊かな自然資源の活用という部分について具体的に記載や金勝の地域やアクティビティのことを明記していただいているので、今後より頑張る必要があるように感じた。

西田委員) シガリズムを意識し、上手く連携していきながら、栗東市の方で発信したいことをビューローでお手伝いできればと思っている。県全体として進めることにも参画して一緒に進めていきたいと思う。

築地会長) 戦略の3点目としてマーケティング計画の焦点の部分とそれに基づく体系として最大のポイントになるかと思うが、どのような順序付けになるか、これからどのように考えていくかをお聞かせいただければと思う。

山口事務局長) なにが成功や重みとなるかはその時々判断になるので、正しいかどうかの図る手段がないのが現状であるため、観光協会が事業をしてすぐ別事業となるような状況ではないと考えている。アクションがどのように作用するかわからないが、一手目を観光協会が主導で行う必要があるかなと思っている。

築地会長) 観光協会の西田委員と山口事務局長に質問であるが、行政に対して何を求めていくか。

西田委員代理) 市と連動した両輪を履いていくような流れで栗東市とともに積み上げていくような認識で考えている。両輪を履きながら進めていくということがコンセプトであり、勝手に観光協会だけが進むものではないと思う。そのため、栗東市と歩調を合わせながら進めていくことが大切であると考えている。その中でも財政の部分が大切であり、財政基盤がないとやりたいたこともできないため、財政的な支援を賜りたいと考えている。

山口事務局長) 行政に求めることは観光協会が担えない部分である道路整備や看板の設置などを担っていただきたい。また、市民の方々に対しては外に情報発信をする際は観光協会を活用していただきたい。

審議事項

① 栗東市観光振興ビジョン KPI の設定及び来年度取組方針について（資料 5）

事務局より資料に基づいて説明。→一同承認。

意見・質疑

築地会長) 交通アクセスが気になるが、来年度の取組方針としてバスの増便の検討とあるが、これは検討であるのか。

事務局) 財政的な問題もあり、確実にできることではないので、検討とさせていただいている。

林委員) 基本戦略 2 基本事業 (2) 取り組む項目③「市民のおもてなし意識の醸成と教育分野との連携」とあるが、子どもたちの体験した記憶というのは間違いなく、地元への愛着などにつながり、子どもの時の体験を通して人生が揺るがされるような大きな刺激を与えられることはすごく必要な経験だと思う。そのため、庁内で連携を図り、新しい取組を市として動いていただけるようなことをぜひ考えていただきたい。

事務局) この場で頂く意見などを担当部署に伝えながら、庁舎内での役割分担を調整し、横のつながりを広げていきたいと考えている。今後ご意見がございましたら、担当課まで連絡を頂ければと思います。

林委員) シガリズムの中にも教育旅行にも力を入れていきますという文言があるように各地域で大きな団体を受け入れる体制が整っているかということになるので、市内の教育だけでなく、外から来た人にいい思いをしてもらえるような取組をこれから検討して頂きたいと思う。

山口事務局長) 観光協会として、手原駅構内で小学生の書いた栗東の観光マップを掲示しており、昨年度から実施している。和中散も葉山東小学校の生徒には公開して頂いている。その際の説明を観光ボランティアガイドさんにガイドをして頂いている。観光と教育が全く関係を持ってやっていないわけではないが、目に見える所が少ないかなとは情報発信の弱さを反省している。

5. 閉会

(田中副会長)